※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)生物基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	生物基礎　（啓林館）						
副教材等	セミナー生物基礎　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小・中学校での理科の学習を終えて、高校では人と自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という観点で見ることによって、生物が生きるしくみ、子孫を残すしくみを学ぶ。１年次に学んだ知識をもとに演習を中心に授業を展開します。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行うことを通して、生物学的に探究する能力と資質を次の通り育成することを目指す。

- ■　生物や生物現象について理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ■　習得した知識を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけるようにするとともに、実験データ、グラフを読み取り、問題を解く力を養う。
- ■　自然や生物に親しみ、生物現象に関心をもつ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	実験や実習を通じて、科学的な思考・考察を行う。 グラフ・表を読みとる力、それを元に問題を解く力を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、科学的に探究しようとしている。事前に学んでいる事項に対して、復習を行い授業に臨んでいる。また、考査などの振り返りに対し積極的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1部 生物の特徴	生物の多様性と共通性の視点を身につけ，生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び，生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 上記知識を元に演習を行い、問題を解く力を身に付ける。	a: 生物の共通性、原核生物と真核生物の共通点と相違点，細胞小器官の働き，植物細胞，動物細胞の構造を理解する。 b: 生物の共通性と多様性について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 c: 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に関して復習をし、演習に臨んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出ノート	小テスト 提出ノート 振り返りシート
	第2部 遺伝子とそのはたらき	生物と遺伝子について観察，実験などを通して探究し，細胞の働き及びDNA の構造と機能の概要を理解する。 上記知識を元に演習を行い、問題を解く力を身に付ける。	a: 遺伝子とそのはたらきについて，遺伝情報と DNA の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 遺伝情報と DNA について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 c: 遺伝情報と DNA に関する知識の復習をし、演習に臨んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出ノート	小テスト 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2	第３部 生物の体内環境の維持(神経系と内分泌系による調節)	生物の体内環境の維持について観察，実験などを通して探究し，生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し，体内環境の維持と健康との関係について認識する。 上記知識を元に演習を行い、問題を解く力を身に付ける。	a: 神経系と内分泌系による調節について，情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 情報の伝達について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 c: 情報の伝達に関する事物・現象に関して、知識の復習をし、演習に臨んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出ノート	小テスト 提出ノート 振り返りシート
	第３部 生物の体内環境の維持(免疫)		a: 免疫について，免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 免疫の働きについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 c: 免疫の働きに関する事物・現象に関して知識の復習をし、演習に臨んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出ノート	小テスト 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3	第４部 生物の多様性と生態系	生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について認識する。 生物基礎の学習範囲全分野を含む演習を行う。	a: 植生と遷移について，植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 植生と遷移について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 c: 植生と遷移に関する事物・現象に関して知識の復習をし、演習に臨んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出ノート	小テスト 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度